

## ICTトップランナー研修会の意見交換会議題一覧

番号	トラブル事例	今回、受講したい研修内容についてご意見があれば記入をお願いします。	ICT活用工事を実施してきた中で、困ったことや解決できなかった問題の事例等があれば情報提供をお願いします。	意見交換内容
11	設計データ作成	3Dデータ作成方法について	3Dデータの作成に大変時間がかかる。	データ作成にはどうしても時間がかかってしまう。
12	設計データ作成	ICTを活用した構造物工での管理方法や規格値	ICTでの3次元測量では全体の土砂・岩の土量は算出することはできませんが、片切・オーブンの個別算出ができません。	土砂・岩の区分はできるが、オープン・片切の区分は難しい。全体土量を算出し、引き算をする方法が一番簡単。
13	設計データ作成	今後のICT活用工事の可能性と生産性向上についてや普及拡大、課題等についての講習を受けたいです。	困ったこと、点群データの解析ソフトを覚えるのに苦労しました。解決できなかった問題は、今のところ無いです。	
14	設計データ作成	今後のICT活用工事の可能性と生産性向上についてや普及拡大、課題等についての講習を受けたいです。	困ったこと、点群データの解析ソフトを覚えるのに苦労しました。解決できなかった問題は、今のところ無いです。	
4	施工	ICT施工方法について	施工途中で機械のトラブルが発生した	
5	施工	ICT施工による出来形管理の事例について	①岩盤の切土完了時の面管理において、全点が80～100%には入らない。②衛星が拾えず作業時間に制約がある(現場による)。	
6	施工	3次元設計データについて	マシンコントロールでの施工は便利で省力化ができたが、現場による衛星の状態により能力が半減した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工場所によっては、衛星電波が入らないことがある。</li> <li>・時間帯等によって、精度に影響が出ることもあるため、施工前に精度確認をすることが大事。</li> <li>・原因不明の精度低下が希にある。</li> <li>・手直しするしかない。</li> </ul>
7	施工	特になし	GNSSの感度が悪い所があって困る。	
8	施工	今後のICTについて	GNSSの状況により建機が使えない	
24	施工	特になし	衛星を受信しづらい場所でのICT活用	
9	施工	色々なICT活用工事の事例が知れたらいいと思います。	林道開設工事で杭ナビショベルを用いたマシンガイダンスによる地山掘削作業を行った際、LN-150(自動追尾TS)を設置する位置によって作業速度に変動が生じた。LN-150はバックホウの後方に置きつつ、取付けたプリズムが見通せる位置でなければならず、起伏のある山間部では、作業の進みに合わせて機械の据える位置を変えなければならなかった。	
10	施工	ICT活用の現状と課題	施工場所によって、ICT建機の稼働率は問題無いが、施工時には誤差が生じてしまい、結局手直しとなってしまった。	
22	施工	社内でのICTの(設計データの作成など)広めれるか?	雨の日の施工はどのように行っていますか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT建機のプリズムに雨が当たらないように、傘を取り付ける等の工夫をしている。</li> </ul>
15	その他	地域が違う方々との意見交換	ベテラン社員への浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手とベテランで役割分担をすることも大事。</li> <li>・定年退職した社員を再雇用して、3Dデータ作成等の教育をしている会社もある</li> </ul>
20	その他	特にありません	ICTは活用しているものの、ツールとしての使用にとどまり、まだまだ施工プロセスの改善には至っていないこと。	

研修で紹介のあったサイトのリンク先  
 JENOBA : <http://www.jenoba.jp/pas/planning/planning.html>  
 trimble : <https://www.gnssplanning.com/#/settings>